

財政公表

平成14年度の決算状況と15年度上半期の予算執行状況をお知らせします。なお、市ホームページでも公開しますのでご覧ください。

問い合わせ
財政課

平成14年度

決算報告

●総括

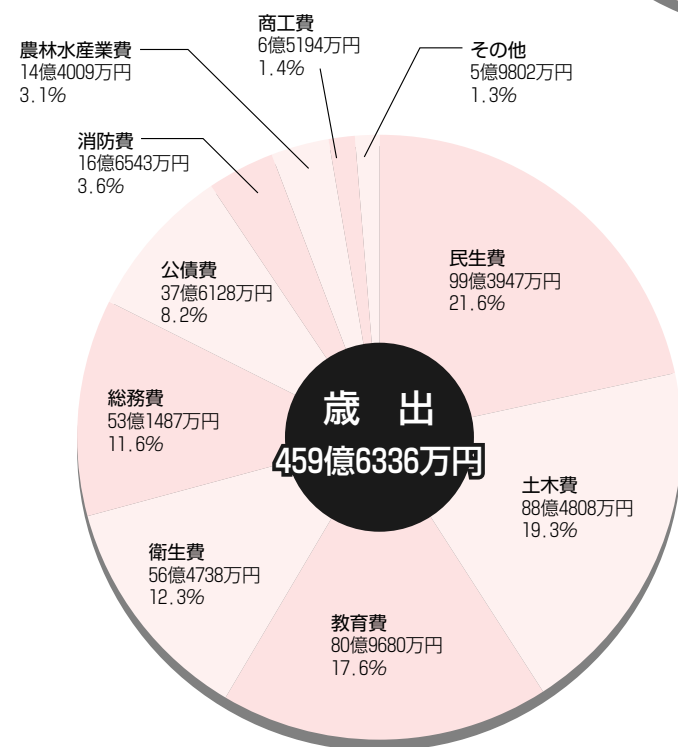
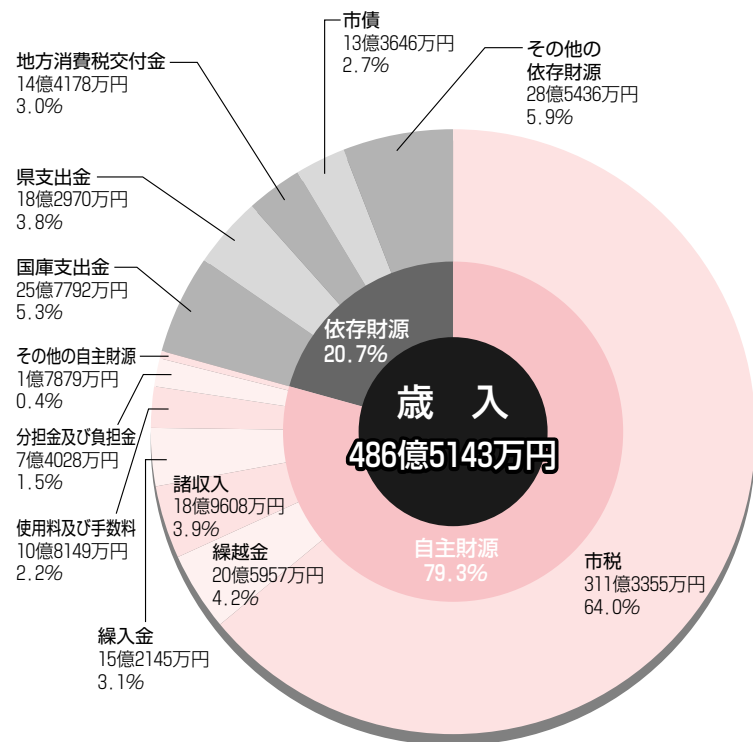
平成14年度の一般会計決算は、歳入総額486億5140万円余、歳出総額49億6330万円余で、前年度に続き、黒字決算となりました。

●歳入

人口・家屋の増加により個人市民税・固定資産税が増額となりました。一方、法人市民税は景気の影響により昨年に続き減少しましたが、市税全体では微増となりました。

このほか、国民年金徴収業務の国への移管などにより諸収入が大きく減少したほか、大型事業が一段落したことにより、国庫支出金と地方債が減少したため、歳入全体では、前年度に比べ8.4%減少しました。

【自主財源】市税や施設使用料など市が独自で調達するお金
【依存財源】国・県支出金や市債など市へ入ってくるお金
【繰入金】特別会計や基金などから繰り入れるお金
【諸収入】皆さんからいただく給食費や預金利息など
【使用料及び手数料】市の施設や行政サービスを利用する人から、それに要する経費を負担してもらうお金
【分担金及び負担金】市が行う事業で特に利益を受ける人から、受益の負担に応じていただくお金



財政指標が示す財政状況

財政力指数 1.24（前年度1.20）

1.00より大きいほど財政力が高い。全国675市の中で第14位。なお、今回、国の算定基準の変更により全国的に指数が上昇している。

経常収支比率 74.6%（前年度71.6%）

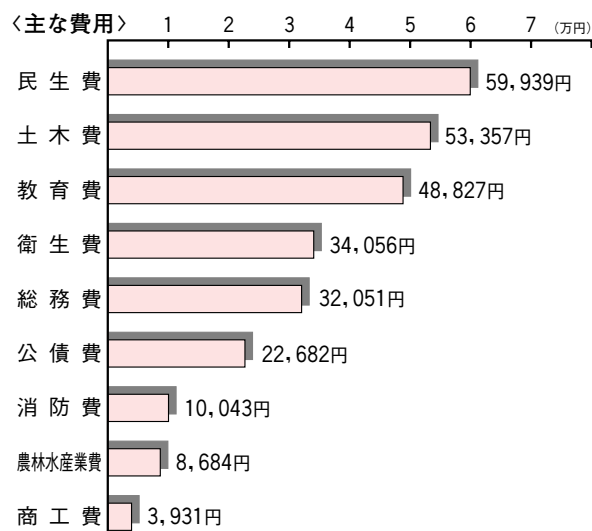
財政構造の弾力性を示す数値で、標準は75%程度。数値が低いほど良好な財政運営とされる。数値的には標準的な値であるが、施設の充実や住民の高齢化により義務的経費が増加しているため、財政状況が硬直化しつつある。

●歳出

更生病院移転新築事業補助の開始と予防接種・健康診査事業の充実、あけぼの保育園・北部小学校の増築、中学校の改築、北部公民館の改修、市民ギャラリーの建設などの事業を行った一方、国民年金の国への事務移管による20億円余の減額や投資的経費が39・2%減少したことなどにより、歳出全体では、前年度に比べ10%減少しました。

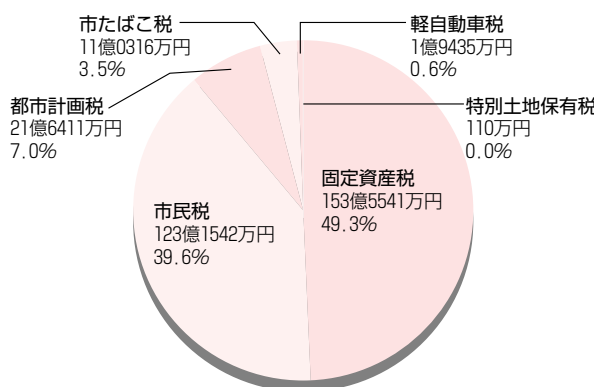
市民1人당にに使われたお金

277,177円（一般会計）



※平成15年3月31日現在の人口16万5827人で算出。

市税の構成比



特別会計

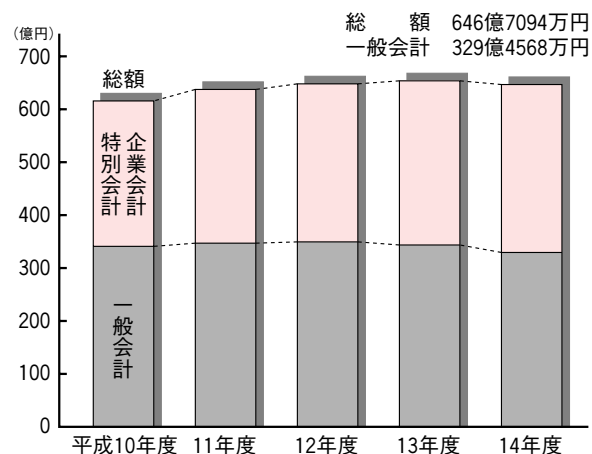
会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	94億3072万円	87億9207万円
交通災害共済事業	3168万円	3118万円
土地取得	892万円	800万円
有料駐車場事業	3億1314万円	1億8386万円
下水道事業	48億1083万円	47億1514万円
老人保健事業	83億8735万円	83億4693万円
土地区画整理事業		
北部	16億4552万円	12億4246万円
新幹線駅周辺	4億6956万円	4億6950万円
作野	11億9133万円	10億7239万円
桜井駅周辺特定	9億1849万円	8億2909万円
農業集落排水事業	5215万円	5215万円
介護保険事業	36億7153万円	35億8619万円
計	309億3122万円	293億2896万円

公営企業会計（水道事業）

区分	収入	支出
収益的収支	29億6474万円	27億8711万円
資本的収支	8億3275万円	16億6933万円

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんした。

市債残高の推移



市債には、将来的に利益を受けるであろう市民にも返済を負担してもらい、世代間の公平を図るという重要な役割があります。平成14年度の公債費比率は7.6%。10%を超えないことが望ましいとされており、計画的な借入れに努めています。



平成15年度
予算執行状況

平成15年9月30日現在の平成15年度予算の執行状況をお知らせします。

（9月30日現在の市のデータ）

▼人口 16万6770人

▼世帯 5万7879世帯

▼面積 86・01平方キロメートル

平成14年度末 貸借対照表

自治体における一般会計の決算は、企業などのそれとは違い、単年度の現金収支のみが示され、資産や負債の状況はわかりません。そこで、市の財政状態をより詳しくご理解いただくため、貸借対照表（バランスシート）を作りましたので、その結果をお知らせします。

なお、この貸借対照表は、平成12年に国が公表したルールに沿って普通会計ベースで作成したものです。

●概況

平成14年度末の資産総額は2756億円となり、前年度に比べ3億円減少しました。

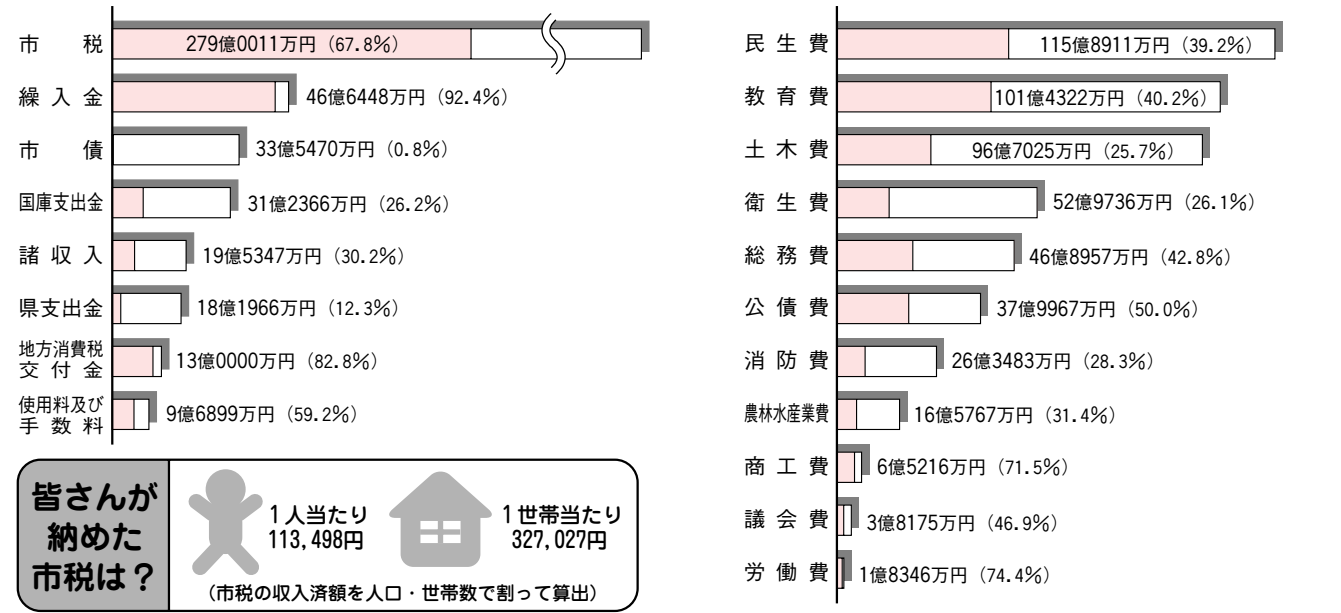
内訳をみると、土地・建物などの有形固定資産が17億円減って2426億円になりましたが、投資及び出資金、基金などが10億円増えて269億円に、現金・預金、未収金などの流動資産も5億円増えて62億円になりました。

また、負債総額は500億円となり、前年度に比べ56億円増えたので、正味資産は59億円減って、2256億円になりました。

一般会計（棒グラフは主な科目の予算額と執行率）

歳入（収入率 61.4%） 歳出（支出率 36.2%）

予算額 509億1116万円／収入済額 312億7551万円 予算額 509億1116万円／支出済額 184億3461万円



皆さんが納めた市税は？

1人当たり 113,498円

1世帯当たり 327,027円

（市税の収入済額を人口・世帯数で割って算出）

公営企業会計（水道事業）		
区分	予定額	執行額
収益的収入	28億6521万円	14億4259万円
収益的支出	27億9000万円	9億7550万円
資本的収入	7億1624万円	1億5925万円
資本的支出	16億1280万円	10億1587万円

市債の現在高	
一般会計	313億9406万円
特別会計	271億1837万円
企業会計	39億9373万円
計	625億0616万円

市有財産			
土地	222万4270㎡	立木	5487㎡
建物	47万2616㎡	有価証券	3270万円
山林	48万2100㎡	基金	186億4251万円

特別会計			
会計	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	101億5100万円	38億9510万円	43億1167万円
交通災害共済事業	4500万円	2789万円	1545万円
土地取得	300万円	92万円	0万円
有料駐車場事業	1億5900万円	2億1157万円	5148万円
下水道事業	52億2765万円	10億9835万円	17億9213万円
老人保健事業	82億7000万円	35億7690万円	35億0023万円
土地区画整理事業			
北部	13億6000万円	6億4391万円	3億6428万円
新幹線駅周辺	2億7084万円	6649万円	1億0326万円
作野	14億6800万円	2億8734万円	4億1100万円
桜井駅周辺特定	13億6390万円	3億0701万円	4億3082万円
農業集落排水事業	7400万円	1370万円	2650万円
介護保険事業	41億9460万円	14億8066万円	15億7556万円
計	325億8699万円	116億0984万円	125億8238万円

貸借対照表（バランスシート）

借方				貸方			
	13年度末	14年度末	増減額		13年度末	14年度末	増減額
【資産の部】				【負債の部】			
1. 有形固定資産	244,300,372	242,556,664	△1,743,708	1. 固定負債	41,745,829	47,172,469	5,426,640
(1)総務費	5,510,633	5,379,811	△130,822	(1)地方債	31,696,567	30,084,601	△1,611,966
(2)民生費	10,832,451	10,695,376	△137,075	(2)債務負担行為	0	8,348,512	8,348,512
(3)衛生費	21,548,075	20,458,410	△1,089,665	(3)退職給与引当金	10,049,262	8,739,356	△1,309,906
(4)労働費	143,635	130,723	△12,912				
(5)農林水産業費	18,588,635	18,156,230	△432,405	2. 流動負債	2,670,732	2,871,078	200,346
(6)商工費	32,772	36,545	3,773	(1)地方債翌年度償還予定額	2,670,732	2,871,078	200,346
(7)土木費	93,486,558	93,239,695	△246,863	(2)翌年度繰上充用額	0	0	0
(8)消防費	2,989,852	2,727,301	△262,551				
(9)教育費	72,055,867	72,600,419	544,552	負債合計	44,416,561	50,043,547	5,626,986
(10)その他	19,111,894	19,132,154	20,260				
(うち土地)	92,487,574	93,756,961	1,269,387				
2. 投資等	25,889,643	26,851,832	962,189	【正味資産の部】			
(1)投資及び出資金	6,243,947	6,714,491	470,544	1. 国庫支出金	20,201,576	19,669,521	△532,055
(2)貸付金	83,560	104,460	20,900	2. 都道府県支出金	9,276,168	8,938,852	△337,316
(3)基金	19,562,136	20,032,881	470,745	3. 一般財源等	202,054,530	196,988,044	△5,066,486
3. 流動資産	5,758,820	6,231,468	472,648	正味資産合計	231,532,274	225,596,417	△5,935,857
(1)現金・預金	4,355,556	4,785,800	430,244				
(2)未収金	1,470,732	1,518,790	48,058				
(3)貸倒引当金	△67,468	△73,122	△5,654				
資産合計	275,948,835	275,639,964	△308,871	負債・正味資産合計	275,948,835	275,639,964	△308,871

市民1人当たりの持ち分は約5万円減少して約138万円に

【1年間の推移】（人口は各年度末の国勢調査推計人口）

年度	人口	資産	負債	正味資産	市民1人当たり		
					資産	負債	持ち分
平成14年度	人 163,613	億円 2,756	億円 500	億円 2,256	万円 168.5	万円 30.5	万円 138.0
平成13年度	161,749	2,759	444	2,315	170.6	27.5	143.1
増減額	1,864	－3	56	－59	－2.1	3.0	－5.1

人口1人当たりに換算すると、資産は約168万円、負債は約30万円となり、市民1人当たりの持ち分は、約138万円になります。

平成13年度末から14年度末にかけての推移を見ると、市民1人当たりの資産は2万1000円減り、また、負債が3万円増えたので、市民1人当たりの持ち分は、5万1000円減少したことになります。